

鹿児島大学農学部附属高隈演習林



鹿児島大学農学部附属高隈演習林は、前身の鹿児島高等農林学校の時
代1909年（明治42年）にできま
した。その5年後（1914年）に
桜島の大正噴火が起こり、その時に
被災した桜島や垂水の住民が当時
原野だった大野原に開拓に入りまし
た。大野地区はその周囲を高隈演習
林に囲まれ、演習林の面積（3061
ha）は垂水市の19%を占めます。設
立当初は大部分が痩悪な広葉樹林や
草地でしたが、屋久杉やケヤキの人
工造林など、先人たちの努力110
余年の歴史に育まれた多様な森林と
自然環境に恵まれており、農学部の

森林・林業に関する実習や研究の場
として活用されています。
近年では、大学の地域貢献の一
環としての森林環境教育活動（子
どもたちや一般向けの自然体験、森
林林業体験など）や、林業のプロを
育てる林業技術者養成講座等を盛ん
に行い、また他大学の学生に利用し
てもらうこと（文科省の教育関係共
同利用拠点に認定）や、持続可能な
森林資源管理を世界基準でクリアす
る（SGEC森林認証の取得）など、
大学の教育研究と森林資源・環境の
保全・利用等をグローバルに実現す
べく幅広い活動を行っています。

おおの しぜんがっこう 大野 ESD 自然学校



垂水市立大野小中学校は、平成18
（2006）年3月、惜しまれつつ
長い歴史に幕を閉じました。この学
校跡地を拠点に、同年4月より各種
自然体験活動を提供する「大野ES
D自然学校」事業を開始しました。
事業当初より開始した主催事業
「おおの探検隊」は現在50回を数え、
毎回定員を超える多くの申込みがあ
ります。一番人気の沢登りをはじめ、
テント設営や野外炊事等、市内の児
童生徒は大野の自然を満喫していま
す。
また、小学校の宿泊学習や総合的



な学習の時間、幼稚園のお泊り保育、
大学のキャンプ実習等、様々な形で
多くの方々に利用していただいでい
ます。
一方、地区公民館との連携も図り
ながら、施設内にてふれあいスポー
ツ大会や大野原いきいき祭りも開催
しています。